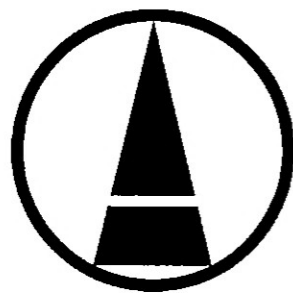


平成 30 年度

# 第 48 回 富 山 支 部 全 体 会

日 時 : 平成 30 年 5 月 19 日(土)16:00~

場 所 : オーバード・ホール  
1階ハイビジョンシアター



公 益 社 団 法 人

富 山 県 建 築 士 会 富 山 支 部

## 綱 領

- 1、われわれの建築は、人類の幸福のため最良の芸術たるべし。
- 2、われわれ建築士は、社会発展のため最新の指導者たるべし。
- 3、わが建築士会は、会員の向上のため最善の団結たるべし。

Tempo di marcia **建築士の歌** 作詞 井上 一三 社団法人 日本建築士会連合会  
作曲 峯岸 徹 (昭和30.10.15制定)  
清瀬 保二

1 晴れ渡る世紀の空に  
槌音<sup>つちおと</sup>冴えてとどろく  
この力更に加えて  
同胞の幸を護らん  
おお われらわれら建築士

はれわたる せいぎのそらにつちおとはさえ

2 日に進む時代を越えて  
新たる文化つちかう  
この理想高くかざして  
悠久の平和築かん  
おお われらわれら建築士

とどろくこのちからさらにくわえては

3 果立ちゆく若き日本に  
建設の使命果てしなく  
この技術共に磨きて  
明日への飛躍<sup>とびだ</sup>奮わん  
おお われらわれら建築士

らからのさちをもらん おー

おわれらわれらけんちくし

公益社団法人 富山県建築士会 富山支部

## 第 48 回支部全体会

(16 : 00～16 : 30)

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 来賓紹介・挨拶
4. 物故会員への黙祷
5. 議長選出
6. 議事

第 1 号議案	平成 29 年度	事業(会務)報告の件
第 2 号議案	平成 29 年度	事業収支決算報告の件
第 3 号議案	平成 30 年度	富山支部役員(案)の件
第 4 号議案	平成 30 年度	事業方針(案)の件
第 5 号議案	平成 30 年度	事業計画および収支予算報告の件
7. 閉会(この後、引き続き富山建築クラブ第 6 回総会を開催します)

## 講演会

(16 : 40～17 : 40)

講師：吉野 博行 氏(富山県土木部建築住宅課 課長補佐)

演題：富山県における住宅・建築物の防災対策について

平成 29 年度 物故会員 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

山田 林作 浅野 春雄(平成 28 年)

## 平成29年度 事業（会務）報告

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

月	日	名称	会場	参加者
4	19	第1回役員会：全体会議案書、事業実施計画	士会会議室	12名
5	17	事務局会議：決算確認、全体会議案書印刷製本	士会会議室	3名
5	20	第47回支部全体会	ハイビジョンシアター	30名
5	20	講演会：ニュージーランド地震におけるCTVビルの崩壊はなぜ起きたのか 講師：富山市都市整備部建築指導課参事栗島正憲氏	ハイビジョンシアター	30名
5	31	第2回役員会：事業検討	士会会議室	14名
5	31	かぐてんぼう隊とやま実行委員会①	士会会議室	14名
6	17	賛助会員訪問：太陽光発電所見学	㈱日本空調北陸本社	13名
7	12	かぐてんぼう隊とやま上袋公民館打合せ	上袋公民館	6名
7	19	かぐてんぼう隊とやま実行委員会②	士会会議室	15名
8	20	かぐてんぼう隊とやま、防災イベントに参加、広報、希望者募集	富山市総曲輪	4名
8	23	かぐてんぼう隊とやま実行委員会③	士会会議室	18名
8	23	第3回役員会・かぐてんぼう隊とやま事前説明会	士会会議室	18名
8	26	住宅講座：「2017 草屋根の家」 講師：前田由利/一級建築士事務所 YURI DESIGN	滑川市有隣庵	28名
8	30	かぐてんぼう隊とやま出動：出発式[5軒実施]	富山市上袋地区	21名
9	9	県内建築見学会：本丸亭・碌々亭、旧総曲輪小再開発	富山市	16名
9	30	防災協定に基づく防災参集訓練	富山市新庄小	30名
10	18	第4回役員会	士会会議室	13名
10	19	富山市公開建築パトロール協力	富山市内	1名
11	17	パネルディスカッション「富山市との災害時支援協定(避難所の安全確認支援)を考える」	ハイビジョンシアター	54名
11	29	第5回役員会：来年度支部担当事業計画について	Big5	19名
12	8	第60回建築士会全国大会 連合会長表彰：白山 徹氏、井波 隆氏	京都市勸業館	20名
12	9	県外建築見学会：無鄰菴、大山崎山荘、地中の宝石箱	京都市	13名
2	3	かぐてんぼう隊 in 富山：わがやネットとの合同発表会	Big5	10名
2	28	第6回役員会：支部全体会について	士会会議室	14名
3	22	理事会(H28年度事業報告決算承認、H29年度事業計画予算承認)	士会会議室	支部7名
3	28	第7回役員会：来年度支部担当事業計画承認	士会会議室	12名

併せて 富山建築士 2018/No. 62 「支部トピックス」もご参照ください。



## 平成30年度 富山支部役員 (案)

常任相談役	稲葉 実	今村 彰宏	金山 泰夫	鎌田 茂
	木村 正人	小林 英俊	近藤 俊明	白山 徹
	堂田 重明	中村 忠則	村井 紘一	山本 幹史
	◎ 西野 晴仁			
支部長	◎ 鈴木 保二			
副支部長	根塚 三起生	稲垣 由希子	岡崎 光晴	酒井 康裕
総務	◎ 富樫 吉規	飯野 美代子		
常議員	安宅 恵	栗島 正憲	稲垣 英優	稲葉 伸一
	永川 武	勝原 修	河上 忠文	桑田 政次
	小泉 美江子	小見 美由紀	小見 直輝	小山 浩二
	阪口 憲一	四宮 哲	白川 佳代子	千代 固志
	高畑 訓	田知本 忠雄	富樫 武彦	中川 裕恵
	中本 尚	長谷川 格	藤岡 豊	藤田 秀樹
	松田 一夫	水野 久枝	宮本 克彦	室谷 外幸
	守田 賢	山口 朋文	◎ 前田 哲宏	◎ 宮下 剛
	監事	今井 勇英	福村 仁志	

(◎は新任、○は交代)

公益社団法人富山県建築士会富山支部

## 平成30年度 事業方針 (案)

### 支部活動の原点 地域支援活動 実践

安全・安心な地域づくりのための効果的な建築士会活動として、減災を軸とした地域支援活動を実践活動として行う。

### 重点実施項目

1. 安全・安心な地域づくりのために、建築士会として具体的に協力できることを地域活動として実施する。

① 減災のために効果的な家具の転倒防止実施支援（高齢者世帯などを主として）を行う。

② 地域防災委員会などと情報交換し、協力体制を敷く。

2. 建築士として必要な技術や文化を学ぶ機会を設ける。

① 支部全体会・講演会 ②住宅講座 ③建築見学会

④県外建築研修等





第5号議案 平成30年度 事業実施体制 (案) (事業概要と担当委員)

	事業名	事業概要	チーフ	委員
			サブ	
1	支部全体会・講演会	演題：富山県における住宅・建築物の 防災対策について 講師：吉野博行氏 5/19(土)	富樫 吉規	金山 泰夫
			稲垣由紀子	飯野美代子
2	住宅講座	演題：生きている長屋&竹原義二の 住宅建築 講師：竹原義二氏 8/4(土)滑川旧宮崎酒造	今村 彰宏	
			西野 晴仁	
3	県内建築見学会	新築建物やまちづくり現場見学会 (予定) 魚津住吉小学校(木造校舎)	岡崎 光晴	粟島 正憲 永川 武
			山口 朋文	今井 勇英
4	県外建築見学会	場所：近県 長野～新潟 バスツアー等	稲垣 英優	小見美由紀 村井 絃一
			小見 直輝	高畑 訓 飯野美代子
5	賛助会員訪問	賛助会員の工場、ショールーム等の 見学	富樫 吉規	桑田 政次 中本 尚
			藤田 秀樹	小泉美江子 山口 朋文
6	防災地域支援	家具の転倒防止等の対策実施 対象：総曲輪・蜷川地区高齢者世帯等 8/30(水：防災週間の初日) 9/2(日)	根塚三起生	岡崎 光晴 福村 仁志
			山本 幹史	富樫 吉規 鈴木 保二
			木村 正人	安宅 恵 西野 晴仁
			桑田 政次	小見 直輝 前田 哲宏
			飯野美代子	宮下 剛
7	建築パトロール協力	富山市建築指導課実施の建築パトロー ルに同行	鈴木 保二	
8	ブロック協議会	富山ブロック会議出席、支部間調整 10/26 全国大会(埼玉)参加バスツアー	西野 晴仁	富樫 吉規
			鈴木 保二	
9	広 報	支部ホームページ	富樫 吉規	鈴木 保二 福村 仁志
			飯野美代子	小山 浩二 前田 哲宏

<http://toyama-kenchikushikai.or.jp/branches/toyama/>

## 公益社団法人富山県建築士会富山支部 新入会員名簿

平成 29 年 4 月	奥田 達也	笠井 美咲	桑名 優介
平成 29 年 5 月	本居 貴紀		
平成 29 年 6 月	角 美佳	紺谷 美咲	山崎 峰子
平成 29 年 12 月	齋田 あゆみ		
平成 30 年 3 月	音 逸郎	上山 祥子	齋田 武亨
	田中 基允	長田 静穂	西山 悦郎
	水上 慎吾		

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日までの間に入会した方々です。  
以上 15 名（男性 8 名、女性 7 名）

## 富山建築クラブ 第6回 総会

### 議事

第1号議案 平成29年度 事業報告、決算書、監査報告の件

第2号議案 平成30・31年度 役員(案)の件

第3号議案 平成30年度 事業方針及び事業計画(案)の件

第4号議案 平成30年度 予算書(案)の件

### 閉会

## 交流会

(18:00~20:00)

とやま自遊館 1階レストラン

(平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日)

## ◇ 収 入

項 目	内 訳	H29年度予算	H29年度決算
富山県建築士会交付金	≒(支部の会費収入)×0.045	230,000	230,000
総会交流会費	一般4000*19+青年女性3000*9+会長6000	140,000	109,000
ボーリング大会		30,000	0
防災イベント費	支部事業支援(かぐてんぼう隊)	60,000	0
全国大会交流会費		125,000	0
雑収入	預金利息他	1,000	22
合 計		586,000	339,022

## ◇ 支 出

項 目	内 訳	H29年度予算	H29年度決算
支部運営費	事務委託費	100,000	100,000
コピー費	役員会資料等	20,000	4,000
通信費、消耗品費	通信費、印刷代、振込手数料等	15,000	0
	(以上運営関係費 小計)	135,000	104,000
総会交流会費	会員29名+講師	160,000	127,600
ボーリング大会		50,000	0
防災イベント費	支部事業支援(かぐてんぼう隊)	165,000	14,450
全国大会参加補助	12/8・9 京都 3,000×21名	75,000	63,000
全国大会交流会費	12/8・9 京都	140,000	9,706
雑費		10,000	5,046
	(以上交流、懇親関係 小計)	600,000	219,802
支部役員会		0	13,000
	(以上役員会 小計)	0	13,000
合 計		735,000	336,802

当期収支差額	-149,000	2,220
前期繰越収支差額	2,357,142	2,357,142
次期繰越収支差額	2,208,142	2,359,362

参考1: 繰越金増減額 2,359,362円 - 2,357,142円 = 2,220円増加した


参考2: 通帳残高 2,345,049円 + 現金残高 14,313円 計 2,359,362円

## 監査報告書

富山建築クラブの平成 29 年度事業及び会計の執行状況について、帳簿並びに関係書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成 30 年 4 月 23 日

監 事 今井 勇英 

監 事 福村 仁志 

会 長 ◎鈴木 保二  
副会長 根塚三起生 稲垣 由希子 岡崎 光晴 酒井 康裕  
総 務 ◎富樫 吉規 飯野美代子  
監 事 今井 勇英 福村 仁志

(参考) 富山建築クラブ 会則

(名称)

第1条 本会は富山建築クラブ(以下「会」という)と称する。

(目的)

第2条 会は会員の交流と親睦を深めることを目的とする。

(会員)

第3条 会員は公益社団法人富山県建築士会(以下「建築士会」という)富山支部に属する建築士等、及び会の目的に賛同する者とする。

(役員)

第4条 会は第2条の目的を達成するため、次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 総務 2名
- (4) 監事 2名

(役員任期)

第5条 役員任期は2か年とし、総会において選出する。

(総会)

第6条 年に1回総会を行い、事業報告及び決算並びに事業計画及び予算等を承認する。

(経費)

第7条 会の経費は建築士会からの交付金及び会への寄付金その他をもって充てる。

(会計年度)

第8条 会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終える。

以上

## 第3号議案

## 平成30年度 事業方針および事業計画 (案)

(公社)富山県建築士会からの交付金は、主として同富山支部及び富山建築クラブの運営関係費に充当すると共に、富山支部からの貴重な引継ぎ金を財源としていることに鑑み、年間活用金額(減額)は15万円以下とします。なお、富山支部の防災関係事業を盛り上げる防災イベントを行い、会員相互の交流を図ると共に市民へのアピールになることを目指します。

## 第4号議案

## 平成30年度 予算書 (案)

(平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日)

## ◇ 収 入

項 目	内 訳	金 額
富山県建築士会交付金	≒(支部の会費収入)×0.045	230,000
総会交流会費	35名(3,000×5名+4,000×25名+5,000×5名)	140,000
防災イベント費	支部事業支援(かぐてんぼう隊)	60,000
全国大会交流会費	25名(5,000×25名)	125,000
雑収入	預金利息他	1,000
合 計		556,000

## ◇ 支 出

項 目	内 訳	金 額
支部運営費	事務委託費	100,000
コピー費	役員会資料等	20,000
通信費、消耗品費	通信費、印刷代、振込手数料等	15,000
	(以上運営関係費 小計)	135,000
総会交流会費	会員35名+講師+新入会員他	160,000
防災イベント費	支部事業支援(かぐてんぼう隊)	160,000
全国大会参加補助	10/26・27 埼玉 3,000×25名	75,000
全国大会交流会費	10/26・27 埼玉	150,000
雑費		10,000
	(以上交流、懇親関係 小計)	555,000
支部役員会		16,000
	(以上役員会 小計)	16,000
合 計		706,000

当期収支差額	-150,000
前期繰越収支差額	2,359,362
次期繰越収支差額	2,209,362

繰越金減額 2,359,362 - 2,209,362 = 150,000円 減少する(使う)